

TOYOGAWA

YOUSUI

豊川用水

水土里ネット豊川総合用水



編集・発行／豊川総合用水土地改良区
豊橋市今橋町8
TEL.0532-54-8278
FAX.0532-54-8292
U R L / <http://www.toyosou.jp>
E-mail / toyogawayousui@toyosou.jp

Vol.74 2015 SUMMER 平成27年7月1日発行

彩り鮮やか豊富な栄養 ～料理に花を添えて～

食用菊は、菊そのものに解毒効果があり、古くから殺菌目的としてお刺身のつまによく使われています。栄養面でも、ビタミンB群などの抗酸化作用が高い栄養素を多く含んでいます。愛知県は、食用菊の出荷量が全国1位、その中でも、つまとしての小菊は、国内生産の9割を占めています。

豊橋市下条東町の中村義照さんは、約6000㎡のハウスでご夫婦、パートの方々と食用菊を栽培しています。品種を変えて、年間を通して生産・出荷しています。お刺身のつまの他に、お浸し、酢の物、天ぷらとして食べても美味しいです。





理事長あいさつ

理事長 小久保 三 夫

盛夏の候 組合員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から皆様方には土地改良事業、豊川用水に係る維持管理事業及び豊川用水二期事業につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

はじめに水源の状況ですが、昨年は夏以降、降雨に恵まれ、平年以上の貯水量で乗り切ることができました。しかし、4月に入っても真冬並みの気象がみられたように、近年、気象状況が大きく変化してきており、一昨年のような湯水が、いつ起きるかわかりません。私たちも、気象状況を注視し、慎重な水管理に一層努めてまいります。皆様には、引き続き貴重な水の有効利用を心掛けて下さいますよう、お願い申し上げます。

さて、豊川用水二期事業につきましては、予定していた工期通り、平成27年度で全ての工事が完了となります。しかし、4年前に発生した東日本大震災を教訓に、新たな知見に基づき、再び豊川用水施設の検証が行なわれた結果、耐震性の低い箇所が判明いたしました。そこで、大規模地震対策の当初計画から外れていた部分にも、耐震対策が急務となり、現在の二期事業の計画変更が必要となりました。この計画変更により、震度7クラスの地震が来ても、発生直後から併設水路により通水が可能となるほか、幹線水路が2本になることによって、計画的に点検・補修ができるようになり、施設の長寿命化が図られます。この計画変更を進めるには、組合員の皆様に、事業承認の同意をいただく必要がございます。豊川用水は、日本屈指の農業王国である当地域の生命線であり、農業はもちろん、市民生活、産業活動にとっても水の安定供給は、必要不可欠であります。現在の大規模地震対策は、国、愛知県、関係各市に全額負担していただいております。今後も、この計画変更による組合員の負担がゼロとなるよう、関係機関へ要望を続けて参ります。当地域の発展と、さらなる農業発展のため、ぜひとも皆様方のご協力をお願いしたいと存じます。

米価の大幅な低下を始め、農業情勢は大変厳しい状況にあります。本年秋には水資源機構により、大島ダムの小水力発電所が完成し、その稼働によって水資源機構の管理費負担金の低減が図られる見込みではありますが、こうした再生エネルギーの活用等により、組合員皆様の負担が少しでも軽減されるよう、今後も努めてまいります。

最後になりますが、本年度も引き続き、役職員一丸となり、適正な配水、維持管理に努めてまいりますので、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

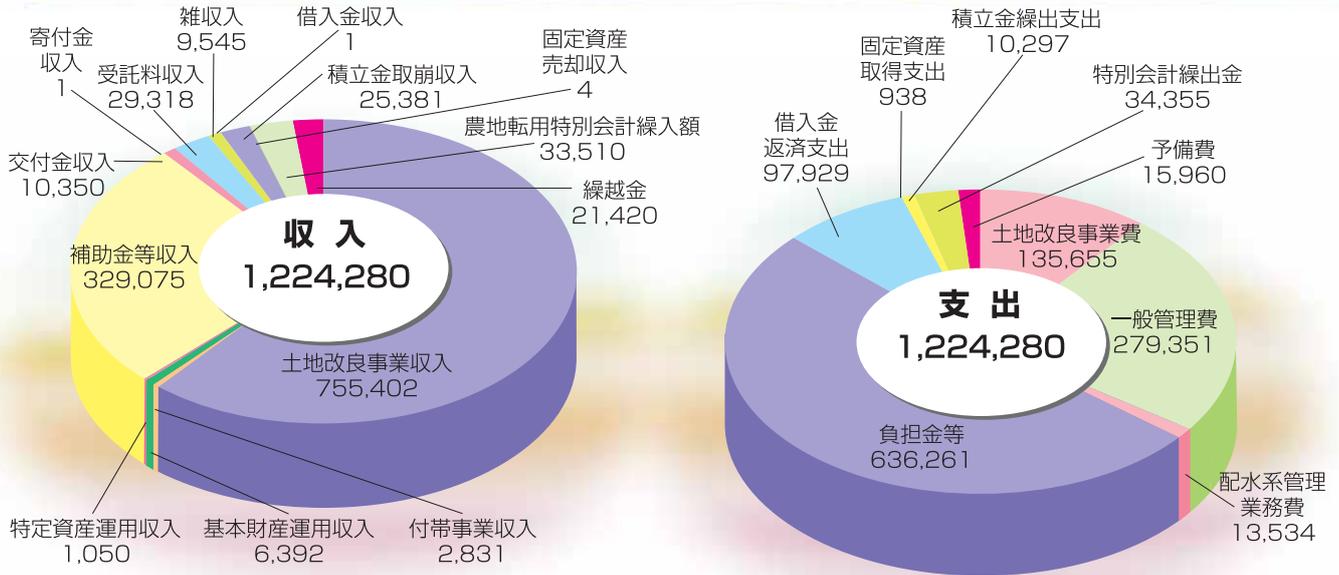
第29回通常総代会が開催されました

平成27年3月26日午前10時よりライフポートとよはしにおいて、多数のご来賓、顧問、参与のご臨席を賜り、第29回通常総代会を開催しました。議長には、田原市の荒木春高総代が選出され、提出した12議案のすべてが、原案通り可決されました。

また、議事終了後、永年勤続により、森下副理事長、職員の生田、八木が表彰されました。



平成27年度 一般会計収支予算 (単位：千円)



豊川総合用水土地改良区事務局機構図

平成27年4月1日

参事
松本 正夫

事務局長
渡辺 範久 (新規採用)

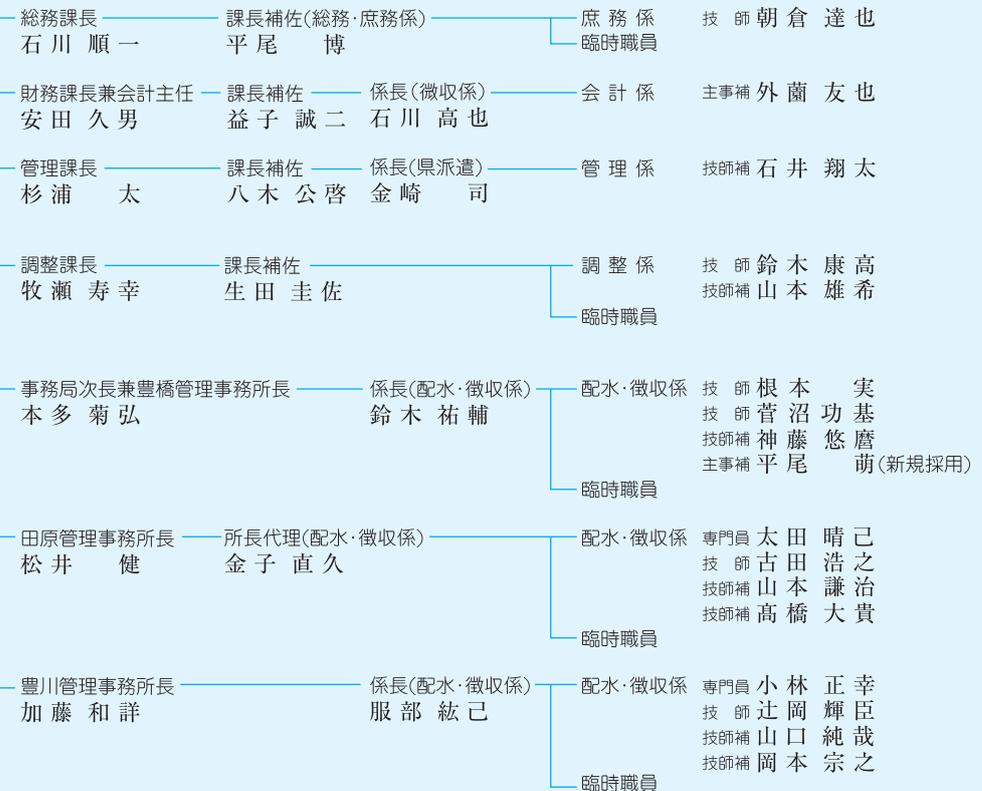
事務局次長
鈴木 良典

事務局次長
本多 菊弘

所属別職員数(人)

所 属	職員数
参 事	1
事 務 局 長	1
事 務 局 次 長	2
総 務 課	3
財 務 課	4
管 理 課	4
調 整 課	4
豊橋管理事務所	5(6)
田原管理事務所	6
豊川管理事務所	6
合 計	36

()書きは兼務者を含んだ数



お世話になりました(平成27年3月31日退職) 柴田 文章 (調整課 専門員)

平成27年度

賦課金のお知らせ

■ 賦 課 金

賦課金の区分	賦課地区	1,000m ² 当たり 賦課金額(円)	賦課期日	徴収期日	徴収方法
経常賦課金	全地区	500	平成27年4月1日	平成27年7月27日	直接徴収
送水系維持管理賦課金	同上	田 1,100 畑 1,210	同上	同上	
配水系維持管理賦課金	新城地区	自然庄田 2,205 畑 880 P掛田 4,345 畑 1,840	同上	同上	
特別修繕賦課金	事業実施地区	地区毎に算出	理事長が定めた日	理事長が定めた日	事業実施地区に委託
水資源機構管理賦課金	全地区	田 550 畑 605	同上	同上	直接徴収
県営事業賦課金	同上	785	同上	同上	
機構営改築事業賦課金	同上	100	同上	同上	
機構営豊総事業賦課金	同上	1,200	同上	同上	
機構営二期事業賦課金	同上	275	同上	同上	
地区単営事業賦課金	事業実施地区	地区毎に算出	理事長が定めた日	理事長が定めた日	事業実施地区に委託

賦課金の期限内納付にご協力ください

豊川総合用水土地改良区の賦課金通知書の発送は、**毎年1回**となっております。

本年度の納入期限、口座振替日は**平成27年7月27日(月)**です。

口座振替の方は、7月24日(金)までに、届出された口座にご入金くださるようお願いいたします。

また、口座振替の方は、プライバシー保護のため、口座番号は下3桁の表示となっております。

■ 新規加入金 (1,000m²当たり)

田 (円)	畑 (円)
79,000	89,000

■ 農地転用決済金 (1,000m²当たり)

地区	決済金	
	田(円)	畑(円)
全地区(下記地区を除く)	104,140	109,540
石綿管除去地区(配水系)	108,230	113,630
赤羽根地区	99,180	104,580
赤羽根地区 石綿管除去地区(配水系)	103,270	108,670
新城地区	211,730	154,220
新城地区 石綿管除去地区(配水系)	215,820	158,310

決済金は、地区除外等処理規程による意見書等を交付すると同時にその全額を徴収します。



受益面積及び組合員数

平成27年4月1日現在

区 分	受 益 面 積 (ha)			組 合 員 数 (人)
	田	畑	計	
豊 橋 市	1,941.4	3,879.4	5,820.8	7,972
田 原 市 (旧田原町)	826.5	1,767.4	2,593.9	2,946
田 原 市 (旧赤羽根町)	184.9	838.7	1,023.6	1,103
田 原 市 (旧渥美町)	438.8	2,648.9	3,087.7	3,572
新 城 市	443.0	120.9	563.9	1,625
豊 川 市 (旧一宮町)	219.9	269.9	489.8	962
豊 川 市 (旧豊川市)	255.8	413.9	669.7	1,866
豊 川 市 (旧小坂井町)	59.0	34.2	93.2	394
豊 川 市 (旧御津町)	273.9	132.2	406.1	953
蒲 郡 市	82.9	475.8	558.7	1,517
合 計	4,726.1	10,581.3	15,307.4	22,910



組合員のみなさまへ!

法務局や、農業委員会の手続きだけでは
当土地改良区の名義は変更されません。

下記のような場合は、組合員資格得喪通知書の提出が必要です。

- ・亡くなられた場合。
- ・農地を売買、または交換した場合。
- ・経営移譲した場合。
- ・住所や氏名を変更した場合。

組合員資格得喪通知書の様式を変更しました。

- ・用紙については、当土地改良区の財務課、豊橋、田原、豊川管理事務所、関係土地改良区にあります。
- ・また、当土地改良区のホームページにも掲載しており、ダウンロードも可能です。ご活用ください。

ホームページアドレス : toyosou.jp

農地転用・地区除外をする場合は、当土地改良区への申請と、決済金の納付が必要です。

- ・また、公共用地(道路、河川等)で、売買された場合にも、当土地改良区への申請と、決済金の納付が必要です。



お問い合わせ先

財務課・豊橋管理事務所
(0532)54-8278

田原管理事務所
(0531)22-1702

豊川管理事務所
(0533)93-3525

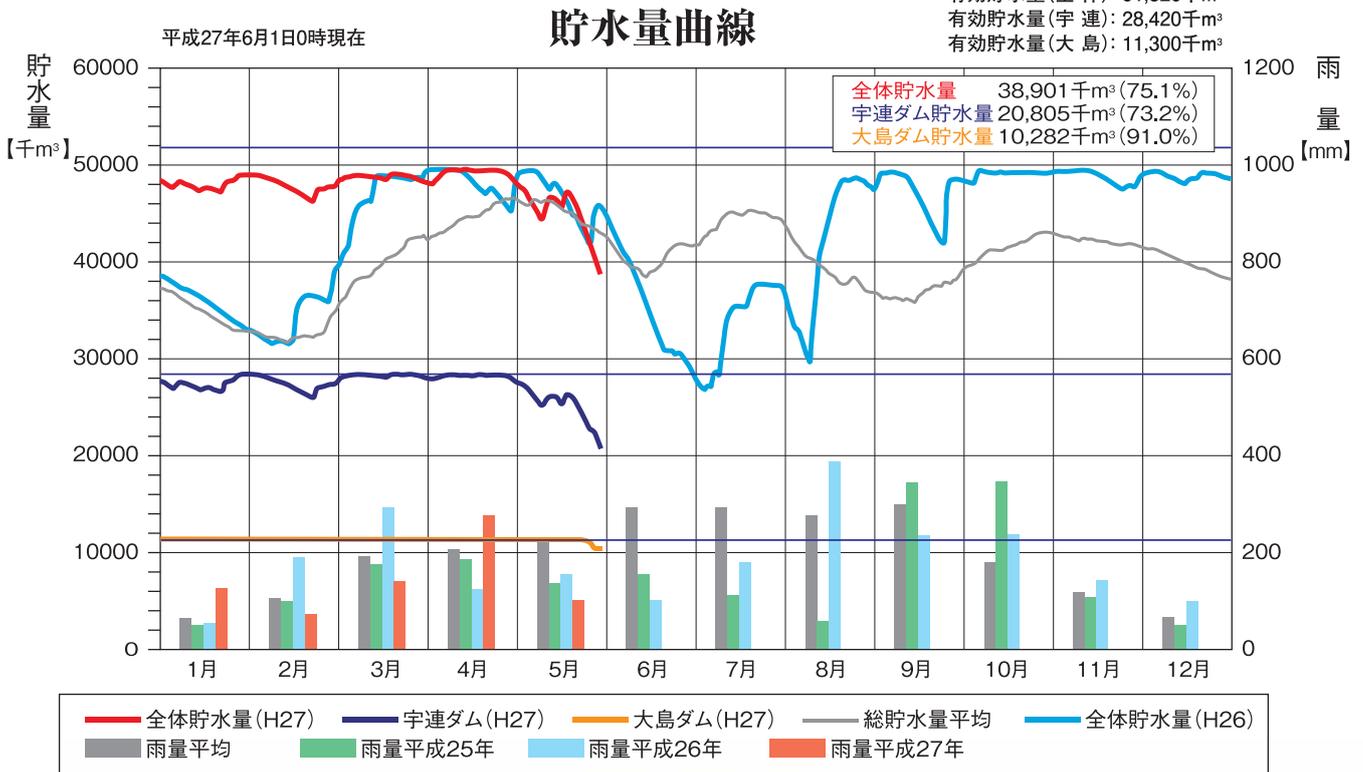
「水害や渇水はいつ起こるかわかりません」

6月1日現在、宇連・大島ダムの全体貯水量は、75.1%で、平年より7%ほど下回っており、今後も注意が必要です。

今年は、6月までに平年の3倍近い7個の台風が発生しています。また、近年は台風や豪雨による水害が起こる地域がある一方で、渇水に見舞われる地域もあり、気象状況の変化を感じています。今後も、水害や渇水がいつ起こるかわかりませんが、こうした変化に素早く対応できるように、慎重な水管理を心掛けますので、組合員の皆様も貴重な水の有効利用をお願いします。

組合員の皆様も水を有効利用し節水に心掛けてください

有効貯水量(全 体): 51,820千m³
 有効貯水量(宇 連): 28,420千m³
 有効貯水量(大 島): 11,300千m³



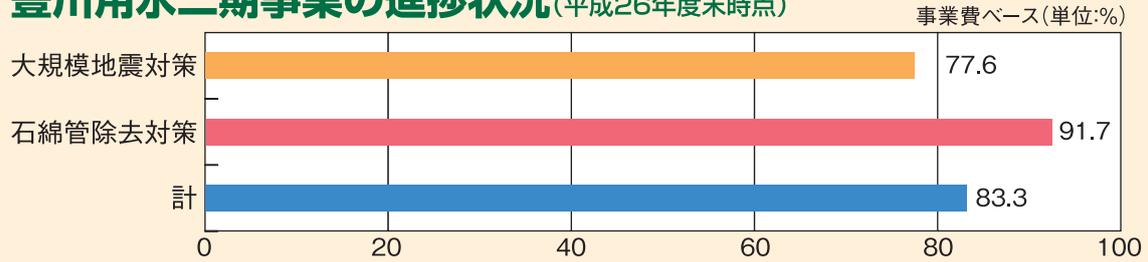
平成27年度 漏水事故等緊急時連絡先

休日等に漏水事故を発見されたり、緊急に連絡が必要になったときは、下記、連絡先までご連絡ください。



豊川用水二期事業について

豊川用水二期事業の進捗状況(平成26年度末時点)



工 事 概 要

豊川用水二期事業では、「大規模地震対策」・「石綿管除去対策」を平成27年度の事業完了に向けて鋭意進めています。

大規模地震対策

大規模地震による二次災害の発生を未然に防止するため、既設開水路の補強、併設水路(管水路)の布設、調整池の堤体耐震補強及び取水塔の工事を行っています。



(田原市堀切町地内)

石綿管除去対策

支線水路の石綿管を除去して、塩ビ管等に改築することで用水の安定供給、効率化を図るものです。



(蒲郡市五井町地内)

工事に伴う断水、交通規制等を行うため、ご迷惑をお掛けしますが、組合員の皆様には、より一層のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

計画変更同意のお願い

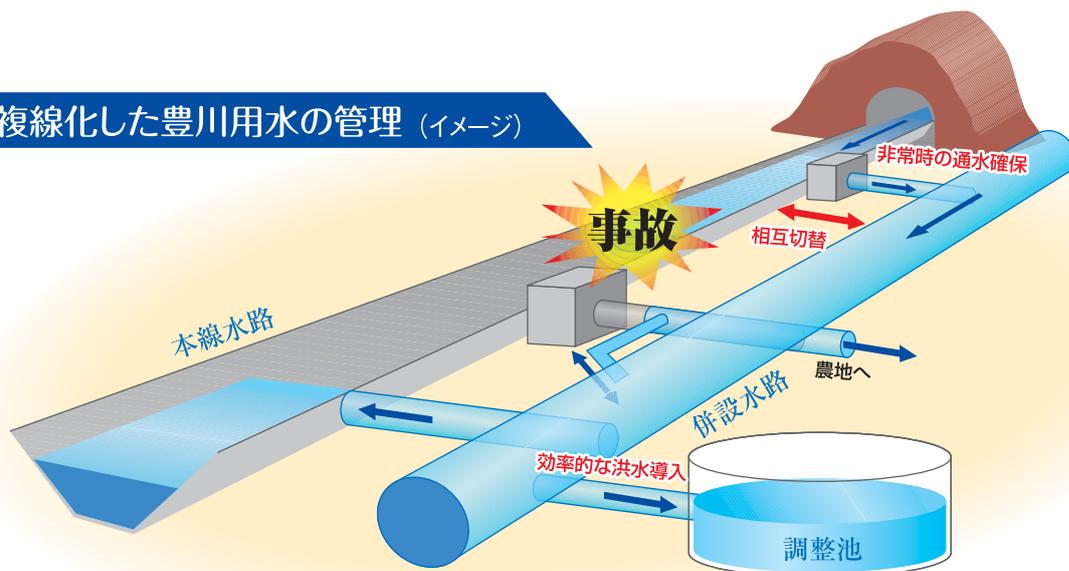
東三河の生命線である、「豊川用水」の安定供給と東海・東南海等の大規模地震への備えとして、「豊川用水二期事業」の計画変更が必要となりました。

計画変更のポイント

地震に強い併設水路が全線つながり本線水路の耐震対策も実施します。

- 本線水路で事故が発生しても併設水路は耐震性に優れているため、震災直後から通水が可能です。
- 断水することなく、計画的なメンテナンスが可能となり、施設の長寿命化と管理経費の節減につなげます。
- 併設水路を利用して、下流部の需要変動に対し迅速に対応できます。
- 洪水時の豊川の河川水を、効率的に調整池へ導入することができます。

複線化した豊川用水の管理 (イメージ)



計画変更の説明会

豊川用水二期事業の計画変更説明会を開催し、担当者が皆様の地区へ同意のお願いに伺いますので、ご出席いただきますようお願いいたします。

**組合員の皆様の同意が必要となりますので、
ご協力をお願いいたします。**